

資料

令和4年度 生駒市立病院 中間報告書

## 目次

診療科目	1
病床数	3
人員体制	5
患者数	7
質の高い医療の提供	9
地域完結型の医療体制構築への寄与	15
救急医療の充実	19
小児医療の充実	23
災害時医療の確保	23
予防医療の啓発	23
市民参加による運営	25
環境に配慮した運営	25
収支	27



病院事業計画(平成27年11月改定)		令和4年度 事業計画	令和4年度 中間報告
診療科目	14 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科	16 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科  診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前 9:00～12:00 夕方 17:00～19:00(土曜日除く) ・受付時間 午前 8:00～12:00 夕方 16:30～19:00(土曜日除く)	16 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科  診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前 9:00～12:00 夕方 17:00～19:00(土曜日除く) ・受付時間 午前 8:00～12:00 夕方 16:30～19:00(土曜日除く)
	上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとします。	・既存の診療科の医療内容の充実を目指し、常勤医師を確保し、専門外来の充実を図ります。 ・院内の診療科間の連携及びより高次、専門性の高い医療機関との連携を進めます。	・既存の診療科について、常勤医師（令和4年4月に小児科、内科、形成外科、腎臓泌尿器科）の確保を図りました。 さらに、院内の診療科間の連携を深め、より高次、専門性の高い医療機関との連携体制（脳神経外科、心臓血管外科等における近畿大学奈良病院や奈良県総合医療センターとの連携体制）を推進しました。

令和4年度 中間報告の補足説明

取組の評価・課題

<診療科目>  
令和4年度において、診療科の変更なし

<その他>

内容	開始時期	診察時間	R4 中間	R3 中間
一般診療 (内科系、外科系を含 めて総合的に診察)	H27.7~	月~金 17:00~ 19:00	814 件	1,129 件
大学の腎臓泌尿器科外 科教授による特別外来	H27.9~	月2回 PM (予約制)	116 件	233 件
がん治療相談外来 ※1 (放射線科)	H27.10~	週1回 AM		
ペイン(痛み)外来 (麻酔科)	H27.11~	月2回 AM	139 件	80 件
助産外来 ※1 (産婦人科)	H28.4~	週1回 PM		
フットケア外来 (形成外科)	H28.6~	週3回 AM	214 件	378 件
乳腺・甲状腺外来 (外科)	H29.10~	週1回 AM	430 件	522 件
小児アレルギー外来 (小児科)	H30.12~	週1回 PM	141 件	106 件
まぶた外来 ※2 (形成外科)	H28.12~	週4回 PM 週1回 AM  6月~ 週2回 PM	134 件	452 件
アンチエイジング外来 ※2,3 (形成外科・皮膚科)	H29.4~			
レーザー外来 ※2 (形成外科)	H29.8~			
下肢静脈瘤外来 ※2 (形成外科)	H31.4~			

- ※1 がん治療相談外来、助産外来については、一般外来患者数に含めて算出しているため、件数の算出が不可能  
 ※2 まぶた外来・アンチエイジング外来・レーザー外来・下肢静脈瘤外来については、形成外科(専門外来)として同一で予約枠を設定しているため、件数の算出が不可能  
 ※3 アイチエイジング外来については、6月から形成外科から皮膚科へ変更

内容	開始時期	診察時間	R4 中間	R3 中間
発熱外来 (帰国者・接触者外来)	R2.4~	月~金 9:00~16:00 土 9:00~12:00	8,507 件	5,422 件

<高次、専門性の高い医療機関との連携実績> P12 参照

○発熱外来(帰国者・接触者外来)において、コロナ  
疑い患者への検査・診療を精力的に行い、市内にお  
けるコロナ対応の中心的な役割を果たしている。

○小児科の常勤医師を1名増員したことにより、尿  
路感染症、腎炎・ネフローゼ症候群などの腎臓疾患  
等についても専門的な対応が可能となり、小児科の  
専門領域を広げている。

課題

全体的にペイン外来、小児アレルギー外来以外は  
令和3年度よりも診療件数が落ちており、アフター  
コロナを見据えた受診動向を把握しておくことが必  
要である。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 中間報告
病床数	病床数 210 床	(令和 5 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 210 床	(令和 4 年 9 月 30 日) 病床数 210 床
	ICU 7 床 小児科 20 床 産婦人科 20 床 内科系 79 床 外科系 84 床	小児科 5 床 産婦人科 19 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 8 床	小児科 5 床 産婦人科 19 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 8 床
		病棟編成 5 病棟、7 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU)	病棟編成 5 病棟、7 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU)
		<p>・救急患者の積極的な受け入れをはじめ、病床利用率の向上に向け、入院医療に対応できる常勤医師の確保、地域医療機関との連携強化による紹介患者の受け入れに取り組めます。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症患者及び疑似症患者の入院受け入れのための感染症病床として、感染症患者用病床 26 床、疑似症患者用病床 1 床を引き続き確保します。</p> <p>・小児科の常勤医師の増員により、小児科の救急医療や入院医療の体制を充実させ、引き続き、奈良県と情報交換をしながら、北和小児科二次輪番体制の充実を図ります。</p>	<p>・救急患者の積極的な受け入れをはじめ、病床利用率の向上に向け、入院医療に対応できるよう内科等の常勤医師を確保しました。また、地域医療機関との連携強化による紹介患者の受け入れに取り組みました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症患者及び疑似症患者の入院受け入れのための感染症病床として、20 床から最大 28 床までコロナ感染状況に応じて受入体制を整備しました。</p> <p>・令和 3 年度に引き続き、北和小児科二次輪番体制へ月 1 回参加しています。</p>

令和4年度 中間報告の補足説明

取組の評価・課題

	R4中間	R3	増減
実稼働可能病床数	178	184	△ 6
小児科	5	5	0
産婦人科	19	19	0
内科系	72	75	△ 3
外科系	74	77	△ 3
HCU	8	8	0

※5階西(コロナ専用病棟)の休止病床を除く。

4階西病棟

小児科・産婦人科・形成外科・一般内科の女性の一般患者を対象とした混合病棟

4階東病棟

整形外科、腎臓泌尿器科、脳神経外科、形成外科、一般内科

5階西病棟

新型コロナウイルス感染症陽性患者専用病棟

5階東病棟

外科、消化器内科、循環器内科、血管外科

	R4中間	R3中間	増減
1日平均病床利用率	54.1%	49.0%	5.1%
1日最大稼働病床数	155床	132床	23床
1日最大稼働病床利用率	73.8%	62.9%	10.9%
月平均新入院患者数	252.2人	245.2人	7.0人
平均在院日数	13.7日	12.8日	0.9日

※各年度、4～9月分

※病床利用率は、210床に対する利用率を記載。

(参考) コロナ専用病床の変遷

開始日	陽性稼働病床	休止病床	病棟名	施設基準	疑似病床
R2.4.14	—	—	—	—	5床(5東)
R2.4.27	—	—	—	—	12床(5東)
R2.6.1	—	—	—	—	5床(5東)
R3.1.5	12床	40床	5西	7:1	4床(5西)
R3.4.1	12床	40床	5西	HCU	4床(5西)
R3.5.1	16床	36床	5西	HCU	2床(5西) 2床(4東5東)
R3.8.24	20床	32床	5西	HCU	2床(4東5東)
R3.10.1	20床	32床	5西	HCU	1床(5東)
R4.2.1	24床	28床	5西	7:1	1床(5東)
R4.3.7	26床	26床	5西	7:1	1床(5東)
R4.6.9	20床	32床	5西	HCU	1床(5東)
R4.7.22	26床	26床	5西	7:1	1床(5東)
R4.9.1	28床	24床	5西	7:1	1床(5東)
R4.9.21	20床	32床	5西	7:1	1床(5東)

○新型コロナウイルス感染症患者の受入病棟を増床(最大28床まで)し、積極的に入院受け入れを行うことにより、公立病院として市内及び北和地区におけるコロナ対応の中心的な役割を果たしている。

○北和小児科二次輪番体制へ参加を継続し、北和地区の小児科二次医療に貢献することができている。

○令和3年度に比べ一日平均病床利用率等の数字が増加しており、収益構造の改善化を進めている。

課題

コロナ専用病床については、確保病床数に対して稼働病床数が低下しつつあることから、コロナ収束を見据えた柔軟な病棟運用が必要である。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 中間報告																																																																																																																																																																																
人員体制	<p>人員体制については、開院当初は、1 日平均想定患者数（外来 300 名、入院 140 名と仮定）による医療法規定人員数に基づき、次のとおり整えます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>医師</td><td>25名</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>80名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>6名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td rowspan="2">3名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td rowspan="2">6名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>7名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>2名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>29名</td></tr> <tr><td>事務職員他</td><td>40名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>198名</td></tr> </tbody> </table>	職種	人数	医師	25名	看護師	80名	薬剤師	6名	理学療法士	3名	作業療法士	言語聴覚士	6名	放射線技師	検査技師	7名	栄養士	2名	看護助手	29名	事務職員他	40名	合計	198名	<p>(令和 5 年 3 月 31 日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>常勤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16">医師</td><td>内科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>外科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>4名</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>4名</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>27名</td></tr> <tr><td rowspan="5">看護師</td><td>外来部門</td><td>45名</td></tr> <tr><td>入院部門</td><td>116名</td></tr> <tr><td>内) 准看護師</td><td>2名</td></tr> <tr><td>内) 助産師</td><td>20名</td></tr> <tr><td>内) 保健師</td><td>0名</td></tr> <tr><td>計</td><td>161名</td></tr> <tr><td rowspan="10">その他</td><td>薬剤師</td><td>15名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>13名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>2名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>8名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>12名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>18名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>7名</td></tr> <tr><td>事務職員他</td><td>55名</td></tr> <tr><td>計</td><td>136名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>324名</td></tr> </tbody> </table> <p>○医療従事者の確保の方法について (医師の確保) 特に常勤医師が不足している放射線科、整形外科等を中心に、常勤医師の確保、増員を図り、入院医療を充実させます。 医師事務作業補助者を増員し、医師の業務負担の軽減を図るなど、医師の働き方改革の取組として、引き続き、勤務環境の改善を行います。</p> <p>(看護師、医療スタッフ等の確保) ・引き続き、学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行います。 ・研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に継続して取り組みます。 ・7対1の看護基準により、さらなる看護ケアの充実を図ります。 ・薬剤師の増員により、引き続き、病棟薬剤業務の充実を図ります。</p>			常勤	医師	内科	3名	消化器内科	1名	循環器内科	2名	外科	3名	脳神経外科	1名	整形外科	1名	形成外科	1名	小児科	4名	腎臓泌尿器科	2名	産婦人科	4名	リハビリテーション科	0名	放射線科	1名	救急科	1名	麻酔科	2名	血管外科	0名	皮膚科	1名	計	27名	看護師	外来部門	45名	入院部門	116名	内) 准看護師	2名	内) 助産師	20名	内) 保健師	0名	計	161名	その他	薬剤師	15名	理学療法士	13名	作業療法士	2名	言語聴覚士	3名	放射線技師	8名	検査技師	12名	栄養士	3名	看護助手	18名	臨床工学技士	7名	事務職員他	55名	計	136名	合計	324名	<p>(令和 4 年 9 月 30 日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>常勤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16">医師</td><td>内科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>外科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>4名</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>23名</td></tr> <tr><td rowspan="5">看護師</td><td>外来部門</td><td>52名</td></tr> <tr><td>入院部門</td><td>100名</td></tr> <tr><td>内) 准看護師</td><td>2名</td></tr> <tr><td>内) 助産師</td><td>18名</td></tr> <tr><td>内) 保健師</td><td>0名</td></tr> <tr><td>計</td><td>152名</td></tr> <tr><td rowspan="8">その他</td><td>薬剤師</td><td>14名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>12名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>1名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>9名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>12名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>4名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>19名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>7名</td></tr> <tr><td>事務職員他</td><td>65名</td></tr> <tr><td>計</td><td>146名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>321名</td></tr> </tbody> </table> <p>○医療従事者の確保の方法について (医師の確保) 常勤医師の入職に関して ・グループ内転勤 1 名 ・勤務希望者の募集 2 名 ・医局人事 2 名 医師事務作業補助者を増員したことにより、医師の業務負担軽減のための勤務環境改善の取組を行いました。</p> <p>(看護師、医療スタッフ等の確保) ・日勤帯のみならず深夜時間帯を含めてさらなる看護ケアの充実を図りました。 ・学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行いました。 ・研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に取り組みました。 ・多職種によるチーム医療を充実させるため、各部門の責任者による運営会議での病院の運営に係る話し合いの他、負担軽減会議において、医師及び看護師の業務負担軽減についても話し合いました。</p>			常勤	医師	内科	2名	消化器内科	1名	循環器内科	2名	外科	3名	脳神経外科	1名	整形外科	0名	形成外科	1名	小児科	4名	腎臓泌尿器科	2名	産婦人科	3名	リハビリテーション科	0名	放射線科	0名	救急科	1名	麻酔科	2名	血管外科	0名	皮膚科	1名	計	23名	看護師	外来部門	52名	入院部門	100名	内) 准看護師	2名	内) 助産師	18名	内) 保健師	0名	計	152名	その他	薬剤師	14名	理学療法士	12名	作業療法士	1名	言語聴覚士	3名	放射線技師	9名	検査技師	12名	栄養士	4名	看護助手	19名	臨床工学技士	7名	事務職員他	65名	計	146名	合計	321名
		職種	人数																																																																																																																																																																																
医師	25名																																																																																																																																																																																		
看護師	80名																																																																																																																																																																																		
薬剤師	6名																																																																																																																																																																																		
理学療法士	3名																																																																																																																																																																																		
作業療法士																																																																																																																																																																																			
言語聴覚士	6名																																																																																																																																																																																		
放射線技師																																																																																																																																																																																			
検査技師	7名																																																																																																																																																																																		
栄養士	2名																																																																																																																																																																																		
看護助手	29名																																																																																																																																																																																		
事務職員他	40名																																																																																																																																																																																		
合計	198名																																																																																																																																																																																		
		常勤																																																																																																																																																																																	
医師	内科	3名																																																																																																																																																																																	
	消化器内科	1名																																																																																																																																																																																	
	循環器内科	2名																																																																																																																																																																																	
	外科	3名																																																																																																																																																																																	
	脳神経外科	1名																																																																																																																																																																																	
	整形外科	1名																																																																																																																																																																																	
	形成外科	1名																																																																																																																																																																																	
	小児科	4名																																																																																																																																																																																	
	腎臓泌尿器科	2名																																																																																																																																																																																	
	産婦人科	4名																																																																																																																																																																																	
	リハビリテーション科	0名																																																																																																																																																																																	
	放射線科	1名																																																																																																																																																																																	
	救急科	1名																																																																																																																																																																																	
	麻酔科	2名																																																																																																																																																																																	
	血管外科	0名																																																																																																																																																																																	
	皮膚科	1名																																																																																																																																																																																	
計	27名																																																																																																																																																																																		
看護師	外来部門	45名																																																																																																																																																																																	
	入院部門	116名																																																																																																																																																																																	
	内) 准看護師	2名																																																																																																																																																																																	
	内) 助産師	20名																																																																																																																																																																																	
	内) 保健師	0名																																																																																																																																																																																	
計	161名																																																																																																																																																																																		
その他	薬剤師	15名																																																																																																																																																																																	
	理学療法士	13名																																																																																																																																																																																	
	作業療法士	2名																																																																																																																																																																																	
	言語聴覚士	3名																																																																																																																																																																																	
	放射線技師	8名																																																																																																																																																																																	
	検査技師	12名																																																																																																																																																																																	
	栄養士	3名																																																																																																																																																																																	
	看護助手	18名																																																																																																																																																																																	
	臨床工学技士	7名																																																																																																																																																																																	
	事務職員他	55名																																																																																																																																																																																	
計	136名																																																																																																																																																																																		
合計	324名																																																																																																																																																																																		
		常勤																																																																																																																																																																																	
医師	内科	2名																																																																																																																																																																																	
	消化器内科	1名																																																																																																																																																																																	
	循環器内科	2名																																																																																																																																																																																	
	外科	3名																																																																																																																																																																																	
	脳神経外科	1名																																																																																																																																																																																	
	整形外科	0名																																																																																																																																																																																	
	形成外科	1名																																																																																																																																																																																	
	小児科	4名																																																																																																																																																																																	
	腎臓泌尿器科	2名																																																																																																																																																																																	
	産婦人科	3名																																																																																																																																																																																	
	リハビリテーション科	0名																																																																																																																																																																																	
	放射線科	0名																																																																																																																																																																																	
	救急科	1名																																																																																																																																																																																	
	麻酔科	2名																																																																																																																																																																																	
	血管外科	0名																																																																																																																																																																																	
	皮膚科	1名																																																																																																																																																																																	
計	23名																																																																																																																																																																																		
看護師	外来部門	52名																																																																																																																																																																																	
	入院部門	100名																																																																																																																																																																																	
	内) 准看護師	2名																																																																																																																																																																																	
	内) 助産師	18名																																																																																																																																																																																	
	内) 保健師	0名																																																																																																																																																																																	
計	152名																																																																																																																																																																																		
その他	薬剤師	14名																																																																																																																																																																																	
	理学療法士	12名																																																																																																																																																																																	
	作業療法士	1名																																																																																																																																																																																	
	言語聴覚士	3名																																																																																																																																																																																	
	放射線技師	9名																																																																																																																																																																																	
	検査技師	12名																																																																																																																																																																																	
	栄養士	4名																																																																																																																																																																																	
	看護助手	19名																																																																																																																																																																																	
臨床工学技士	7名																																																																																																																																																																																		
事務職員他	65名																																																																																																																																																																																		
計	146名																																																																																																																																																																																		
合計	321名																																																																																																																																																																																		



令和4年度 中間報告の補足説明

取組の評価・課題

	R4中間※1		R3実施報告※2		増減	
	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算
内科	2	3.34	1	4.28	1	△ 0.94
消化器内科	1	1.51	1	1.58	0	△ 0.07
循環器内科	2	2.00	2	2.00	0	0.00
外科	3	3.39	3	3.11	0	0.28
脳神経外科	1	1.1	1	1.09	0	0.01
整形外科	0	1.07	0	0.70	0	0.37
形成外科	1	1.60	2	2.67	△ 1	△ 1.07
小児科	4	4.00	3	3.00	1	1.00
腎臓泌尿器科	2	2.63	1	1.79	1	0.84
産婦人科	3	3.92	4	4.40	△ 1	△ 0.48
リハビリテーション科	0	0.00	0	0.00	0	0.00
放射線科	0	0.51	0	0.68	0	△ 0.17
救急科	1	2.59	1	2.51	0	0.08
麻酔科	2	2.00	2	2.00	0	0.00
血管外科	0	0.00	0	0.00	0	0.00
皮膚科	1	1.00	1	1.09	0	△ 0.09
計	23	30.66	22	30.90	1	△ 0.24
外来部門	52	61.11	45	54.82	7	6.29
入院部門	100	106.24	96	103.23	4	3.01
内) 准看護師	2	2.00	2	2.00	0	0.00
内) 助産師	18	18.00	16	17.55	2	0.45
内) 保健師	0	0.00	0	0.00	0	0.00
計	152	167.35	141	158.05	11	9.30
薬剤師	14	14.75	14	14.75	0	0.00
理学療法士	12	12.00	11	11.00	1	1.00
作業療法士	1	1.66	1	1.00	0	0.66
言語聴覚士	3	3.00	3	3.00	0	0.00
放射線技師	9	9.00	7	7.00	2	2.00
検査技師	12	12.00	12	12.00	0	0.00
栄養士	4	4.00	3	3.00	1	1.00
看護助手	19	20.04	19	19.64	0	0.40
臨床工学技士	7	7.00	7	7.00	0	0.00
事務職員他	65	70.36	54	59.07	11	11.29
計	146	153.81	131	137.46	15	16.35
合計	321	351.82	294	326.41	27	25.41

(※1 令和4年9月30日現在、※2 令和4年3月31日現在)  
 ※血管外科は循環器内科の医師が兼任している。

<令和4年9月30日現在の非常勤職員数>

医師 71名、看護師 20名、その他 13名  
 (令和4年3月31日現在の非常勤職員数  
 医師 71名、看護師 24名、その他 10名)

<医師の業務軽減>

・医師事務作業補助者 13名 (内科系 3名、産婦人科 1名、形成外科・小児科・皮膚科 2名、泌尿器科 1名、脳神経外科 1名、整形外科 1名、予約センター 1名、フリー 3名)  
 (令和4年3月31日現在の医師事務作業補助者数 11名)

<看護師、医療スタッフ等の確保対策>

- ・院内保育所の設置 利用スタッフ数 27名  
 (令和3年度上半期 10名)
- ・看護実習生の受入 368名 (令和3年度上半期 250名)
- ・時短勤務 9名 (令和3年度上半期 7名)
- ・産休・育休利用 10名 (令和3年度上半期 10名)
- ・看護師の研修プログラム、奨学金制度
- ・コロナ対応スタッフへの特別手当の支給
- ・入職時研修、新人研修

○小児科常勤医師の増員により、北和小児科二次輪番体制への参加が継続されている。

○外来部門の看護師を増員し、増加する発熱外来 (帰国者・接触者外来) など地域の医療ニーズに対応できる体制を整えている。

○医師事務作業補助者を増員し、医師の業務負担の軽減を図り、働きやすい職場環境を整えている。

○院内保育所の運営や時短勤務の適用などライフステージに合わせた働き方を支援するとともに研修プログラムの充実や、奨学金制度などキャリアアップの支援を実施している。また、看護実習生も積極的に受け入れ、新たな人材確保につながるよう努力している。

課題

入院医療をさらに充実させるため、従来からの課題である内科、整形外科等の常勤医師の不足を解消するための取組を進める必要がある。

令和6年度からの働き方改革の適用も視野に、医師事務作業補助者をさらに増員し、コメディカルによるタスクシフトの取組やICTの活用により、医師の業務軽減を推進する必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 4 年度 事業計画			令和 4 年度 中間報告			
患者数		1 日平均患者数			1 日平均患者数			
			入院	外来		入院	外来 (ワクチン 接種者除く)	外来 (ワクチン 接種者含む)
		4月	118.0人	233.0人	4月	117.7人	239.7人	267.6人
		5月	118.0人	213.0人	5月	98.7人	245.8人	277.3人
		6月	119.0人	225.0人	6月	87.3人	253.7人	278.7人
		7月	125.0人	248.0人	7月	117.2人	302.4人	339.1人
		8月	125.0人	258.0人	8月	134.3人	283.7人	343.4人
		9月	130.0人	248.0人	9月	126.8人	253.1人	281.5人
		10月	130.0人	258.0人	平均	113.7人	263.3人	298.3人
		11月	128.0人	248.0人				
		12月	135.0人	278.0人				
		1月	130.0人	254.0人				
		2月	128.0人	253.0人				
		3月	138.0人	253.0人				
		年間平均	127.0人	247.5人				
		<p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組 入院医療に対応できる常勤医師の確保、救急を含む外来診療体制の維持のための非常勤医師の確保、地域医療機関との病病・病診連携の推進及び救急患者の確実な受け入れのほか、積極的に広報活動や医療講演会を実施することにより、入院・外来患者数の増加を目指します。新型コロナウイルス感染症対策として、発熱外来や疑似症患者及び陽性患者の入院受入体制を継続し、市民へのワクチン接種を実施します。</p>			<p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組 入院医療に対応できる内科・小児科の常勤医師を確保し、救急を含む外来診療体制の維持のため、非常勤医師を確保しました。また、コロナ禍においても救急患者を積極的に受け入れ、地域医療機関との病病・病診連携を推進し、さらに、広報活動やオンラインによる医療講演会を実施し、入院、外来患者数の増加を目指しました。 新型コロナウイルス感染症対策として、発熱外来や疑似症患者及び陽性患者の入院受入体制を継続し、市民へのワクチン接種を行いました。</p>			
		<p>(市民への周知の取組) ・院内の広報委員会による広報活動の強化 ・ホームページ、LINE 公式アカウント、病院だより等による広報活動の推進 ・医療講演会(自治会等各種団体への出張講座含む)の推進</p>			<p>※ワクチン接種者数(延べ人数) 令和 4 年 4 月～令和 4 年 9 月 :合計 6,405 人 1 日平均接種者数 :35.0 人</p> <p>(市民への周知の取組) ・広報委員によるホームページ、LINE 公式アカウント等のチェック、随時更新の実施 LINE 公式アカウント登録者数 1,249 人(令和 4 年 9 月 30 日現在) 〈LINE 公式アカウントの掲載例〉 ・オンライン医療講演会のお知らせ ・オンライン母親教室開催のお知らせ</p> <p>・病院だより発刊 (令和元年 8 月以降、毎月 600 部発刊)</p> <p>・医療講演会 20 講座 参加者 305 名 (内、生駒市医師会や自治会等各種団体への出張講座 3 講座 参加者 71 名含む)</p>			
		<p>(地域の医療機関への周知の取組) ・地域医療連携室による地域の医療機関への積極的な情報提供を推進します。</p>			<p>(地域の医療機関への周知の取組) ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 690 件、252 施設 (令和 3 年度上半期 1,198 件、257 施設)</p>			

令和4年度 中間報告の補足説明

取組の評価・課題

<入院>

(注1)

	R4中間		R3中間		増減	
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均
内科	4,505	24.6	2,455	13.4	2,050	11.2
消化器内科	1,451	7.9	981	5.4	470	2.5
循環器内科	2,827	15.4	3,542	19.4	△ 715	△ 4.0
外科	8,097	44.2	6,482	35.4	1,615	8.8
内)コロナ陽性者除く	6,467	35.3	4,691	25.6	1,776	9.7
脳神経外科	435	2.4	154	0.8	281	1.6
形成外科	940	5.1	3,650	19.9	△ 2,710	△ 14.8
小児科	181	1.0	126	0.7	55	0.3
腎臓泌尿器科	1,172	6.4	746	4.1	426	2.3
産婦人科	1,160	6.3	697	3.8	463	2.5
血管外科	41	0.2	21	0.1	20	0.1
計	20,809	113.7	18,854	103.0	1,955	10.7
内)コロナ陽性者除く	19,179	104.8	17,063	93.2	2,116	11.6

※脳神経外科は令和3年6月からの実績

<外来>

(注1)

	R4中間		R3中間		増減	
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均
内科	15,434	84.3	14,056	76.8	1,378	7.5
内)ワクチン接種者除く	15,434	84.3	10,666	58.3	4,768	26.0
消化器内科	958	5.2	915	5.0	43	0.2
循環器内科	2,841	15.5	2,767	15.1	74	0.4
外科	4,539	24.8	4,207	23.0	332	1.8
脳神経外科	772	4.2	645	3.5	127	0.7
整形外科	3,219	17.6	2,481	13.6	738	4.0
形成外科	3,278	17.9	5,141	28.1	△ 1,863	△ 10.2
小児科	7,940	43.4	8,044	44.0	△ 104	△ 0.6
内)ワクチン接種者除く	1,535	8.4	674	3.7	861	4.7
腎臓泌尿器科	3,468	19.0	2,975	16.3	493	2.7
産婦人科	4,007	21.9	2,914	15.9	1,093	6.0
放射線科	290	1.6	280	1.5	10	0.1
麻酔科	156	0.9	54	0.3	102	0.6
血管外科	124	0.7	73	0.4	51	0.3
皮膚科	3,156	17.2	2,368	12.9	788	4.3
透析	1,907	10.4	2,002	10.9	△ 95	△ 0.5
健診科・ドック	2,496	13.6	2,014	11.0	482	2.6
計	54,585	298.3	50,936	278.3	3,649	20.0
内)ワクチン接種者除く	48,180	263.3	40,176	219.5	8,004	43.8

- ・令和4年度受入患者数
  - 疑似症患者数 34人(令和3年度上半期47人)
  - 陽性患者数 1,630人(令和3年度上半期1,788人)
- ・令和4年度検査件数
  - PCR検査数 5,182件(令和3年度上半期3,541人)
  - 抗原検査数 5,119件(令和3年度上半期2,367人)

○オンライン医療講演のお知らせやオンライン母親教室の開催のお知らせなど公式LINEを活用した情報発信を積極的に行った結果、公式LINEアカウント登録者数が増加している。

○入院医療に対応できる脳神経外科の常勤医を令和3年度に確保したことにより、脳神経外科の入院患者数が伸びてきている。

課題

1日平均入院患者数が計画を下回っており、引き続き、新型コロナウイルス感染症対応と一般診療とを両立しながら、地域の医療機関との病病連携及び病診連携をより一層進め、一般診療の更なる充実を図る必要がある。

LINE公式アカウントを活用した積極的な情報発信など市民に親しみやすい病院としてPRする必要がある。

(注1)

<入院><外来>表中の患者数の1日平均については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と内訳の計が一致しない場合があります。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 中間報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○質の高い医療の提供 生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。</p>	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとってベストな治療・ケアを行います。</p> <p>DPC 対象病院として、診療の標準化、透明化及び診療の質の向上を図ります。また、医療体制をさらに高度なものとするため、第三者に評価してもらう病院機能評価を受けるための準備を進めます。</p> <p>引き続き、高齢者の医療需要にも対応するため、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みます。</p> <p>患者アンケートやご意見箱の内容を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。</p> <p>○医療サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手術件数 (全体) 1,150 件 <ul style="list-style-type: none"> <li>外科 380 件</li> <li>形成外科 500 件</li> <li>腎臓泌尿器科 120 件</li> <li>産婦人科 120 件</li> <li>血管外科 30 件</li> </ul> </li> <li>・分娩件数 160 件</li> <li>・オンライン母親学級を継続して開催します。</li> <li>・産科交流会 母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。</li> <li>・市の産後ケア事業への参加を継続し、産後の授乳指導・育児相談や母子のケア等を行い、母親の育児等を支援します。</li> <li>・産婦人科と小児科が連携することで、新生児、乳幼児に係る母子医療体制を整備・充実します。</li> <li>・医療機器等の整備 必要性、採算性などを検討の上、医療機器の整備を行います。</li> </ul> <p>(導入予定機器)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上部消化管スコープ、下部消化管スコープの更新</li> <li>・産婦人科内診台の増設</li> </ul>	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、入院診療計画策定時から多職種が参加して最適な治療方法を策定するなど、チーム医療を実施しました。</p> <p>DPC 対象病院として、診療の標準化、透明化及び診療の質の向上を図りました。</p> <p>腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術、ダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。</p> <p>また、患者の意見を可能な限り尊重したうえで、患者の思いに寄り添った医療サービスの提供を目指しました。</p> <p>○医療サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手術件数 (全体) 603 件 <ul style="list-style-type: none"> <li>外科 169 件</li> <li>形成外科 261 件</li> <li>腎臓泌尿器科 66 件</li> <li>産婦人科 80 件</li> <li>血管外科 15 件</li> <li>皮膚科 0 件</li> <li>放射線科 3 件</li> <li>整形外科 9 件</li> </ul> </li> <li>・分娩件数 149 件</li> <li>・オンライン母親教室開催 院内健診を受けている妊婦を対象に新生児ケアについて月 2 回オンラインで開催 参加者数 (延べ人数) 33 人 7 月以降は YouTube 配信</li> <li>・産科交流会 (オンライン) 下半期に開催予定</li> <li>・市の産後ケア事業へ参加しました。 サポート人数 3 人 (院内において出産直後にショートステイを利用)</li> <li>・医療機器等の整備 腹腔鏡下手術及び内視鏡下手術増加のため新規医療機器を整備しました。</li> </ul> <p>(導入機器)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大腸ビデオスコープ CF-HQ290ZI</li> <li>・腎盂尿管ビデオスコープ URF-V3</li> </ul>

<科目別手術件数>

	R4中間	R3中間	増減
外科	169	172	△ 3
形成外科	261	332	△ 71
腎臓泌尿器科	66	47	19
産婦人科	80	58	22
放射線科	3	0	3
血管外科	15	12	3
皮膚科	0	2	△ 2
整形外科	9	0	9
合計	603	623	△ 20

・上記以外の件数

心臓カテーテル件数：61件、PCI：39件、内視鏡的手術：176件  
 (令和3年度上半期：心臓カテーテル：59件、PCI：31件、内視鏡的手術：134件)

・主な外科手術例

乳腺悪性腫瘍手術、腹腔鏡下胆嚢摘出術など

・主な形成外科手術例

皮膚・皮下腫瘍摘出術、難治性潰瘍手術など

・主な産婦人科手術例

卵巣部分切除術、緊急帝王切開術など

・主な腎臓泌尿器科手術例

経尿道的前立腺手術、膀胱悪性腫瘍手術など

<腹腔鏡下手術> (胸腔鏡下手術を含む)

	R4中間	R3中間	増減
件数	113	79	34

<ダ・ヴィンチ手術>

	R4中間	R3中間	増減
件数	3	3	0

※対応症例は、前立腺がん

<分娩件数>

		R4中間	R3中間	増減
県内	市内	75	50	25
	市外	33	16	17
	計	108	66	42
県外		41	13	28
合計		149	79	70

<助産制度の実績>

	R4中間	R3中間	増減
件数	2	1	1

※市立病院は、児童福祉法第36条に規定する助産施設

・ハイリスク分娩への対応は、奈良県総合医療センターと連携を取っています。(件数：4件)

<DPC 病院>

平成30年4月にDPC準備病院の届出をし、令和2年4月からDPC対象病院となりました。

<ジェネリック医薬品>

使用率：82.8% (グループ全体使用率：81.9%)

○患者の病状に応じて、胆嚢摘出術、腎悪性腫瘍手術など、身体的負荷が比較的軽い低侵襲な腹腔鏡下手術を実施している。

○整形外科の常勤医がいない状況であるが、近畿大学奈良病院の協力を得て、整形外科の手術にも対応している。

○奈良県総合医療センターと連携しハイリスク分娩にも対応している。

課題

様々な手術において患者の身体的負担が少ない低侵襲手術の実績を有する点を広くPRする必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 中間報告
	<p>主要疾病（4 疾病）に係る医療体制</p> <p>がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実を図ります。</p> <p>脳卒中 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の充実を図ります。</p> <p>急性心筋梗塞 奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCI が 24 時間 365 日可能な体制の充実を図ります。</p> <p>糖尿病 かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療の充実を図ります。</p> <p>○患者満足度の向上について ・入院・外来患者アンケート調査の実施グループ全体（年 1 回 10 月～11 月） ・1 階において、待ち時間が短縮できるように、引き続き案内係を配置し、窓口業務が円滑に行えるよう努めます。 ・ご意見箱の内容に対応 アンケート調査結果やご意見箱の意見について、ホームページ等で公表し、市立病院管理運営協議会へ報告します。</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 新人職員を対象とした接遇研修をはじめ、院内スタッフ対象の接遇研修を充実します。</p> <p>・院内における接遇委員会を定期的開催し、接遇の向上を図ります。</p> <p>・事務・コメディカル・救急救命士を対象とした他部署研修の実施</p>	<p>主要疾病（4 疾病）に係る医療体制</p> <p>がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制を確保しています。</p> <p>脳卒中 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制を確保しています。</p> <p>急性心筋梗塞 奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCI が 24 時間 365 日可能な体制を確保しています。</p> <p>糖尿病 内科、循環器内科、形成外科及び血管外科において、かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療を実施しています。</p> <p>○患者満足度の向上について ・グループ全体で、令和 4 年度入院・外来患者アンケート調査を 10 月、11 月に実施予定</p> <p>・ご意見箱の内容に対応 ご意見箱の内容に対して、対応が必要な案件については、迅速に対応しました。</p> <p>令和 4 年度上半期ご意見箱意見総数 入院 4 件、外来 6 件 合計 10 件</p> <p>・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。（回答総数 241 件）</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 4/2 新入職員向け接遇研修 朝礼において、職員対象に接遇向上の周知</p> <p>・院内における接遇委員会を月 1 回開催（看護部では月 1 回服装チェックなどを実施）</p> <p>・新規入職者の事務・コメディカル・救急救命士を対象とした他部署研修を実施</p>

令和4年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題
<p>○主要疾病（4 疾病）に係る医療体制            &lt;がん&gt;            ・手術件数：令和4年度上半期 60 件（令和3年度上半期 65 件）</p> <p>・がん患者の治療により生じる合併症や機能障害に対する早期回復等を図る取組として、医師、看護師、リハビリスタッフ（3名）によるがんリハビリテーションを実施しています。</p> <p>がん登録件数：令和4年度上半期 102 件            （令和3年度上半期 75 件）</p> <p>・他病院との連携実績            近畿大学奈良病院 13 件、奈良県総合医療センター 9 件            （令和3年度上半期：近畿大学奈良病院 19 件、奈良県総合医療センター 5 件）</p> <p>&lt;脳卒中&gt;            ・他病院との連携実績            近畿大学奈良病院 2 件、奈良県総合医療センター 4 件、市立奈良病院 3 件、野崎徳洲会病院 3 件、石切生喜病院 8 件            （令和3年度上半期：近畿大学奈良病院 3 件、奈良県総合医療センター 6 件、市立奈良病院 1 件、野崎徳洲会病院 5 件）</p> <p>&lt;急性心筋梗塞&gt;            ・心臓カテーテル検査 61 件、PCI 39 件            （令和3年度上半期：心臓カテーテル検査 59 件、PCI 31 件）</p> <p>&lt;ご意見箱の主な内容&gt;            「ガードマンが不愛想で怖い顔の対応で言葉もなく気がめいった。」            （対応：委託業者に対して、改善を申し入れた）</p> <p>「主治医の先生が入院中全く顔を出さず、不安だった。」等、病院スタッフの対応に対するご意見            「環境の良い病院で、先生をはじめ、看護師や薬剤師、栄養士、リハビリの先生方にお世話になりました。ありがとうございました。」            （対応：病院スタッフの対応に対するご意見や激励について該当部署にフィードバックを行っている）</p>	<p>○がん治療については、地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）との連携により行われている。</p> <p>○脳卒中については、近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター、市立奈良病院、野崎徳洲会病院及び石切生喜病院等との連携により、早期に治療できる体制が構築されている。</p> <p>○スタッフ間の連携を強化するため、他部署研修を実施し職員の能力向上に努めている。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 中間報告
<p>医療における安全管理に対する取組</p> <p>●安全管理マニュアルの策定について</p> <p>各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。</p> <p>●医療事故に対する対応について</p> <p>発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM（メディカルリスクマネジメント）委員会で分析したうえ、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行ないます。</p> <p>●院内感染対策について</p> <p>感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的に開催し、感染症発生の監視、院内感染の監視、職員の管理（予防接種等）、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行ないます。</p>	<p>（医療安全管理体制について）</p> <p>市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。また、医療安全に関する情報公開の方法等については、病院年報において、インシデント・アクシデントの包括的公表を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全管理委員会（毎月 1 回開催）</li> <li>・医療安全カンファレンス（毎週 1 回開催）</li> <li>・医療安全勉強会（年 2 回開催）</li> </ul> <p>（医療事故に対する対応について）</p> <p>医療事故発生時は、引き続き、次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の安全確保と救命処置を最優先します。</li> <li>・病院内における事故等の報告を速やかに行います。</li> <li>・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。</li> <li>・重大な医療事故の場合は、保健所等関係機関へ速やかに報告・届出を行います。</li> <li>・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。</li> </ul> <p>（院内感染対策について）</p> <p>院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組み、感染症のまん延期には、N95 マスクの着用を徹底します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染対策委員会（毎月 1 回開催）</li> <li>・ICT ラウンド（毎週 1 回開催）</li> <li>・感染勉強会（年 2 回開催）</li> <li>・ICT 合同カンファレンス（年 4 回）</li> </ul> <p>・感染対策用として、マスク・消毒液等計画的に備蓄を行います。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて、引き続き、奈良県をはじめとする関係機関と情報交換しながら、PCR 検査体制、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入体制及びワクチン接種体制など、新型コロナウイルス感染症の状況に臨機応変に対応します。</p>	<p>（医療安全管理体制について）</p> <p>市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修を実施しました。</p> <p>さらに、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全管理委員会、医療安全カンファレンスについて計画どおり実施しました。</li> <li>・医療安全勉強会 e-ラーニング 合計 296 名参加</li> </ul> <p>（医療事故に対する対応について）</p> <p>医療事故発生時に備えて、日常から迅速・的確に対応できるよう体制整備に努めています。</p> <p>（院内感染対策について）</p> <p>院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染対策委員会、ICT ラウンドについて計画どおり実施しました。</li> <li>・感染勉強会 10 月開催予定</li> <li>・ICT 合同カンファレンス 6/21（ZOOM にて開催） 10/4、12/16、2/14 開催予定</li> </ul> <p>（新型コロナウイルス感染症対策）</p> <p>・感染対策用として、計画的にマスク・消毒液等の備蓄を行いました。 備蓄数（令和 4 年 9 月 30 日現在） マスク 8,100 枚 消毒液 250ml 93 個等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤医師等を含む全職員への院内感染対策を徹底しました。（常時マスク着用の徹底、PCR 検体採取時のマスク、ゴーグル、ガウン等個人防護具の装着の徹底）</li> </ul>



令和4年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題
<p>&lt;医療安全勉強会の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・e-ラーニング 7/14～開催 テーマ：「医療ガス研修会」</li> <li>・e-ラーニング 7/14～開催 テーマ：「診療用放射線の安全利用について」</li> </ul> <p>&lt;新型コロナウイルス感染症対策会議&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県新型コロナウイルス感染症に関する連絡会へ11回参加</li> <li>・院長等3役中心のコロナ対策会議を11回開催</li> </ul> <p>&lt;新型コロナウイルス感染症対策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレハブを含む屋外での発熱外来</li> <li>・面会制限</li> <li>・来院者の検温確認</li> <li>・お見舞いメールの運用：37件（令和3年度上半期：80件）</li> <li>・オンライン面会：104件（令和3年度上半期：126件）</li> <li>・オンライン診療（形成外科）：2件（令和3年度上半期：13件）</li> <li>・オンライン母親教室：33件（4月～6月） 7月以降はYouTubeによる配信 （令和3年度上半期：66件）</li> </ul>	<p>○毎月1回の医療安全管理委員会、毎週1回の医療安全カンファレンスを実施するとともに、e-ラーニングによる医療安全勉強会を実施するなど医療安全管理体制の確保に努めている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策用として、計画的にマスク・消毒液等の備蓄を行っている。</p> <p>○非常勤医師も含めた全職員に対し、常時マスク着用の徹底、PCR検体採取時のマスク、ゴーグル、ガウン等個人防護具の装着など院内感染対策が徹底されている。</p> <p>課題 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて、奈良県をはじめとする関係機関と情報交換しながら、院内における感染管理をより一層徹底し、感染拡大による医療機能の低下を防ぐ必要がある。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 中間報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○地域完結型の医療体制構築への寄与</p> <p>地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方連携と後方連携を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。</p> <p>地域医療の支援に対する取組</p> <p>●在宅支援機能の充実</p> <p>地域連携パスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行ないます。</p> <p>また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪時に対応する処置、入院加療用として 5 床を確保します。</p> <p>●開放型病床の設置</p> <p>地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。</p> <p>●地域医療機関への医療教育プログラムの提供</p> <p>次の取組を検討し、段階的に実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施</li> <li>・院内外の医療従事者に対する TCLS 又は AHABLS、AHAACLS トレーニング (ACLS に相当する指定管理者のプログラム) の継続的实施 (2 年に 1 回程度)</li> <li>・医療機関、救急隊との定期勉強会の実施 (年 2 回程度)</li> </ul>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献します。</p> <p>○在宅支援機能の充実について</p> <p>増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。</p> <p>入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図ります。</p> <p>地域医療連携室において、引き続き、紹介元の開業医が、紹介患者の電子カルテを閲覧できるスペースを設け、病診連携を推進します。</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について</p> <p>地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講習会を実施します。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療教育プログラム 新生児蘇生法講習会(NCPR)</li> </ul>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に努めました。</p> <p>○在宅支援機能の充実について</p> <p>増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行いました。</p> <p>入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図りました。</p> <p>地域医療連携室において、紹介元の開業医が、紹介患者の電子カルテを閲覧できるスペースを設け、病診連携に努めました。</p> <p>(令和 4 年 9 月 30 日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療連携登録医 68 施設・83 名</li> <li>・協力医療機関連携施設 65 施設</li> </ul> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児蘇生法講習会 (NCPR) 9/25 10 名参加</li> </ul>

令和4年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																				
<p>&lt;医療連携登録医&gt; 医療連携登録医からの紹介件数：540件（市内345件、市外195件） （令和3年度上半期：475件（市内310件、市外165件））</p> <p>&lt;協力医療機関連携施設&gt; 協力医療機関連携施設からの患者の救急車による搬送件数：32件 （令和3年度上半期：11件）</p> <p>&lt;入退院支援チーム&gt; 市立病院の医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーにより、患者の退院の計画を作成しています。</p> <p>入退院支援チームの実績</p> <table border="1" data-bbox="150 584 876 777"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4中間</th> <th>R3中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入退院支援加算</td> <td>1,009件</td> <td>1,021件</td> <td>△12件</td> </tr> <tr> <td>介護支援連携指導</td> <td>53件</td> <td>74件</td> <td>△21件</td> </tr> <tr> <td>退院時共同加算</td> <td>15件</td> <td>19件</td> <td>△4件</td> </tr> <tr> <td>退院時訪問指導料</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>△1件</td> </tr> </tbody> </table>		R4中間	R3中間	増減	入退院支援加算	1,009件	1,021件	△12件	介護支援連携指導	53件	74件	△21件	退院時共同加算	15件	19件	△4件	退院時訪問指導料	1件	2件	△1件	<p>○地域の医療機関との病診・病病連携が進んだ結果、医療連携登録医からの紹介件数が増加している。</p> <p>○医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーによる入退院支援チームの推進、入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進が図られている。</p> <p>課題 コロナ収束を見据え、これまで実施を見送らざるをえなかった病診連携懇話会の開催など積極的に行っていく必要がある。</p>
	R4中間	R3中間	増減																		
入退院支援加算	1,009件	1,021件	△12件																		
介護支援連携指導	53件	74件	△21件																		
退院時共同加算	15件	19件	△4件																		
退院時訪問指導料	1件	2件	△1件																		

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 中間報告
<p>●周辺の他の医療機関との連携 新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放型病床の取組を進めます。 また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。 また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。</p> <p>●地域医療連携推進のための組織・体制及び方法の整備 院内に地域医療連携室を設置し、専任職員（看護師・MSW・介護職員等で構成）を配置します。 この専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズに応え、相互の紹介をはじめ診療情報等提供を行ないます。 また、今後、さらなる地域医療連携を推進するため、医師会等とも十分に協議しながら地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築に向けての検討を行います。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への外来予定表、当直予定表等の情報提供を積極的に行い、医師会への入会を目指します。また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、引き続き、MRI、CT、内視鏡及びエコーの共同利用を推進します。</p> <p>市が開催する市内等病院との意見交換会、奈良県が開催する新型コロナウイルス感染症に関する連絡会に参加し、「顔の見える関係性」を深めるとともに、会議の場において、積極的に情報提供をします。</p> <p>・共同利用件数（年間） MRI 220 件 CT 120 件 内視鏡 25 件 エコー 20 件</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、積極的にPRします。</p> <p>（令和 5 年 3 月 31 日） ・医療連携登録医 70 施設 ・協力医療機関連携施設 65 施設</p> <p>地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、さらなる紹介率及び逆紹介率の向上を目指し、紹介された患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を必要に応じて地域の診療所に逆紹介します。</p> <p>・紹介率 35% ・逆紹介率 20%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員（看護師 1 名・メディカルソーシャルワーカー 3 名・事務職員 2 名）を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進します。 専任職員が地元医療機関を積極的に訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行います。 やまと西和ネットの活用により、同ネット参加医療機関及び介護事業所との患者情報の共有等連携を強化するとともに、来院患者への同ネット参加を呼び掛けます。 市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、地域の医療機関や介護事業者など関係者間の連携強化を図ります。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への入会を目指し、毎月、市立病院の医療機能等の情報提供を続けました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器の共同利用を実施しました。</p> <p>市が開催する市内等医療機関との意見交換会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため上半期は開催せず。</p> <p>・医療機器の共同利用件数 MRI 139 件（全利用件数 1,373 件） CT 60 件（全利用件数 4,260 件） 内視鏡 20 件（全利用件数 1,189 件） エコー 27 件（全利用件数 2,323 件）</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、地域医療連携室の職員が地元医療機関を訪問し、登録のメリットを積極的にPRしました。</p> <p>（令和 4 年 9 月 30 日現在） ・医療連携登録医 68 施設・83 名 ・協力医療機関連携施設 65 施設 ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 690 件、252 施設 （令和 3 年度上半期 1,198 件、257 施設）</p> <p>地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、紹介された患者の受け入れに努めました。 また、病状の安定した患者の逆紹介を促進するため、紹介を受けた患者については紹介元へ逆紹介することに加え、紹介を受けていない患者についても、地域医療連携室を通して、患者と相談しながら、患者の住居の周辺の医療機関などへの逆紹介に努めました。</p> <p>・紹介率 25.4% ・逆紹介率 11.6%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進しました。 地域医療連携室の専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行いました。</p> <p>やまと西和ネットに参加し、同ネット参加医療機関及び介護事業所との患者情報の共有等連携に努めました。</p> <p>生駒市医療介護連携ネットワーク協議会及び在宅医療介護推進部会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により下半期に開催予定。</p>

令和4年度 中間報告の補足説明

取組の評価・課題

・令和4年3月29日 生駒地区医師会への入会申請を提出  
(現在、医師会にて審査中)

<医療機器の共同利用>

	R4中間	R3中間	増減
MRI	139	105	34
CT	60	66	△ 6
内視鏡	20	9	11
エコー	27	6	21

<医療連携登録医>

	R4中間	R3	増減
施設数	68	68	0

- ・68施設の内、市内内科診療所は28施設・34名
- ・全市内内科診療所(89施設)の31.5%

<協力医療機関連携施設>

	R4中間	R3	増減
施設数	65	64	1

<紹介率・逆紹介率等>

	R4中間	R3中間	増減
紹介率	25.4	24.9	0.5
逆紹介率	11.6	14.1	△ 2.5
地域(市内)医療機関の 市立病院利用率	71.9	67.4	4.5

- ・紹介率  
(紹介初診患者数+初診救急患者数)÷初診患者数  
(1,541+1,596)÷12,349= 25.4%
- ・逆紹介率 逆紹介患者数÷初診患者数  
1,431÷12,349= 11.6%  
(参考:紹介元の医療機関に返した入院患者数÷紹介による入院患者数)  
111÷284 = 39.0%
- ・地域(市内)医療機関の市立病院利用率  
市内で紹介を受けた内科医療機関数÷市内内科医療機関数  
64÷89=71.9%

<やまと西和ネット>

- ・西和医療圏(生駒市他1市7町)の医療機関、介護事業所を利用される方の病気、薬などの情報を共有  
参考:令和4年9月30日現在 参加施設数 46施設

○新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらもMRIやCTなどの医療機器の共同利用を進めるなど、地域の診療所との地域医療連携の推進に努めた。

○地域医療連携室の専任職員を配置し、紹介・逆紹介及び入院調整を推進するとともに専任職員が地域医療機関を訪問することによって、地域医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行うなど地域医療機関との信頼関係構築に努めている。

課題

医療連携登録医を増やし、地域医療機関との病病・病診連携のさらなる推進を図るため、引き続き医師会への入会を目指す必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 中間報告																		
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○救急医療の充実 本地域における二次救急医療に対応できる中核病院の必要性から、内科系、外科系、小児科系の二次救急医療の充実を図る。</p> <p>●救急医療体制 市内の二次救急体制で中心的な役割を果たすことを目指し、内科系二次・外科系一次二次輪番体制へ参加するとともに、北和小児科二次輪番体制等への参加や休日夜間応急診療所のバックアップを行います。さらに、救急告示病院として、市消防本部救急隊との連携連絡を緊密にし、かつ当直体制を開示し、24 時間体制での救急受け入れをします。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="108 817 499 1485"> <thead> <tr> <th>診療分野</th> <th>稼働内容</th> <th>稼働回数 (1 月あたり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科系</td> <td rowspan="2">市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加</td> <td>内科系 5 回</td> </tr> <tr> <td>外科系</td> <td>外科系 5 回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小児科</td> <td rowspan="2">奈良県北和小児科二次輪番体制への参加</td> <td>休日 2 回</td> </tr> <tr> <td>夜間 2 回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)</td> <td>10 回 (※1)</td> </tr> <tr> <td>産婦人科(※2)</td> <td>奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加</td> <td>10 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 現在、休日夜間応急診療所(メディカルセンター)で小児科医師が当直している火・木・土・日(うち火・木は 22:00~24:00 の当直)以外の曜日を小児一次救急担当日とし、開院当初は、当該担当日の月・水・金は 20 時から 24 時までは総合診療医を配置します。 ただし、開院後 3 年を目途に小児科医師を 1 名増員することで小児救急の充実を図ります。</p> <p>(※2) 産婦人科については、一次・二次診療を行います。産婦人科緊急手術、分娩、ハイリスク分娩に対応します。但し、未熟児分娩が予想される場合は NICU を有する北和三次救急施設と緊密な連携を取り迅速な対応をします。</p>	診療分野	稼働内容	稼働回数 (1 月あたり)	内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5 回	外科系	外科系 5 回	小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2 回	夜間 2 回		休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10 回 (※1)	産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10 回	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受入体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。 奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施します。 また、新型コロナウイルス疑似症患者及び陽性患者の救急受入をします。</p> <p>○救急医療体制について ・救急受入件数 2,000 件 ・救急応需率 95.0 %</p> <p>・市が開催する市内等病院との意見交換会、奈良県が開催する新型コロナウイルス感染症に関する連絡会に参加し、救急医療体制の充実のため病病連携強化を図ります。 ・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き、関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たします。</p> <p>・小児科の常勤医師の増員により、奈良県と情報交換をしながら、北和小児科二次輪番体制の充実を図ります。</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科診療体制を整備します。</p>	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受入体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に努めました。 奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施しました。 また、新型コロナウイルス疑似症患者等の救急受入をしました。</p> <p>○救急医療体制について ・救急受入件数 1,596 件 (市内 803 件、市外 793 件) ・救急応需率 81.9 %</p> <p>・市が開催する市内等医療機関との意見交換会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため上半期は開催せず。</p> <p>・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き、関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たしました。</p> <p>・令和 3 年度に引き続き、北和小児科二次輪番体制へ月 1 回参加しています。</p> <p>・7/26 令和 4 年度第 1 回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科診療体制を整備しています。</p>
診療分野	稼働内容	稼働回数 (1 月あたり)																		
内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5 回																		
外科系		外科系 5 回																		
小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2 回																		
		夜間 2 回																		
	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10 回 (※1)																		
産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10 回																		

令和4年度 中間報告の補足説明

取組の評価・課題

<救急要請件数>

	R4中間	R3中間	増減
件数	1,948	982	966

<救急受入件数>

	R4中間	R3中間	増減
市内	803	502	301
市外	793	402	391
計	1,596	904	692

<救急応需率>

	R4中間	R3中間	増減
救急受入件数÷救急要請件数	81.9%	92.1%	△10.2%

<ワークイン患者受入件数>

	R4中間	R3中間	増減
件数	1,783	1,494	289
月平均	297.2	249.0	48.2

<救急患者の転送件数>

	R4中間	R3中間	増減
受入件数	1,596	904	692
県内転送	30	22	8
県外転送	27	13	14
転送計	57	35	22

<救急患者の転送率>

	R4中間	R3中間	増減
県内転送	1.9%	2.4%	△0.5%
県外転送	1.7%	1.4%	0.3%
転送計	3.6%	3.8%	△0.2%

※表中の%は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と内訳の計が一致しない場合があります。

<参考：生駒市消防の救急搬送状況（全時間帯）>※

	R4中間	R3中間	増減
市内	67.9%	67.7%	0.2%
市立病院	31.5%	23.8%	7.7%
その他病院	36.4%	43.9%	△7.5%

<参考：生駒市消防の救急搬送状況（当直時間帯）>※

	R4中間	R3中間	増減
市内	64.5%	64.7%	△0.2%
市立病院	34.9%	26.7%	8.2%
その他病院	29.6%	38.0%	△8.4%

※市消防本部提供、速報値

<市内等輪番病院のバックアップ状況>

	R4中間	R3中間	増減
バックアップ率	40%	47%	△7%

計算式 A÷B

A 生駒市立病院が受け入れた件数

B 救急患者を市内等輪番病院が当日に受け入れできなかった件数

(令和4年度上半期：68件÷169件、令和3年度上半期：43件÷92件)

○コロナ禍において24時間365日救急患者の受入体制を整え、奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療体制の充実に努め、新型コロナウイルス疑似症患者等の救急受入を実施するなど地域住民が安心できる医療体制を確保している。

課題

コロナ禍ではあるが市内の二次救急医療体制で中心的な役割を果たすという使命を達成するためにもより一層の救急応需率の向上が期待される。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 中間報告										
<p>●救急に対する人員体制 医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとります。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="103 421 464 929"> <thead> <tr> <th></th> <th>人員体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常時</td> <td>内科系・外科系 医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制</td> </tr> <tr> <td>北和小児科 二次輪番日</td> <td>通常時当直体制 + 小児科医師 1 名の当直</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応 急診療所の バックアップ(小児科) 担当日</td> <td>通常時当直体制 + 総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置</td> </tr> <tr> <td>北和産婦人 科一次救急 当番日</td> <td>通常時当直体制 + 産婦人科医 1 名の当直</td> </tr> </tbody> </table>		人員体制	通常時	内科系・外科系 医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制	北和小児科 二次輪番日	通常時当直体制 + 小児科医師 1 名の当直	休日夜間応 急診療所の バックアップ(小児科) 担当日	通常時当直体制 + 総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置	北和産婦人 科一次救急 当番日	通常時当直体制 + 産婦人科医 1 名の当直	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。特に整形外科等の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。</p> <p>(夜間救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 各診療科専門医によるオンコール体制</li> <li>・外来看護師 2 名の当直</li> <li>・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直</li> <li>・臨床工学技士 オンコール体制</li> </ul>	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備するとともに、当直・オンコール体制のさらなる充実を図りました。</p> <p>(夜間救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 各診療科専門医によるオンコール体制</li> <li>・外来看護師 2 名の当直</li> <li>・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直</li> <li>・臨床工学技士 オンコール体制</li> </ul>
	人員体制											
通常時	内科系・外科系 医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制											
北和小児科 二次輪番日	通常時当直体制 + 小児科医師 1 名の当直											
休日夜間応 急診療所の バックアップ(小児科) 担当日	通常時当直体制 + 総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置											
北和産婦人 科一次救急 当番日	通常時当直体制 + 産婦人科医 1 名の当直											
<p>●診療科毎の対応レベル</p> <table border="1" data-bbox="103 1014 485 1845"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>対応レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>外科・ 整形外科・ 脳神経外科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>小児科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可</td> </tr> <tr> <td>産婦人科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)</td> </tr> </tbody> </table>	診療科	対応レベル	内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)	外科・ 整形外科・ 脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)	小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可	産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAGによる心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を充実します。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き、奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。</p>	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続しました。また、CAGによる心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を維持しました。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き、奈良県総合医療センターとの連携体制が確立しています。</p>
診療科	対応レベル											
内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)											
外科・ 整形外科・ 脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)											
小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可											
産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)											



令和4年度 中間報告の補足説明

取組の評価・課題

<医師のオンコール体制>  
消化器内科、循環器内科、外科、形成外科、腎臓泌尿器科、産婦人科、小児科

・脳神経外科については、他病院との連携体制で対応  
連携実績

近畿大学奈良病院	2件	(令和3年度上半期)	3件)
奈良県総合医療センター	4件	(令和3年度上半期)	6件)
市立奈良病院	3件	(令和3年度上半期)	1件)
野崎徳洲会病院	3件	(令和3年度上半期)	5件)
石切生喜病院	8件	(令和3年度上半期)	6件)

・当直時間帯でのCT、MRI検査、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術の各実績

	R4中間	R3中間	増減
CT	1,018件	737件	281件
MRI	67件	41件	26件
心臓カテーテル検査	4件	5件	△1件
内視鏡検査	9件	10件	△1件

○新型コロナウイルス感染症に対応しつつ、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備し、救急受入体制を維持している。

○休日・夜間について、CT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制に加え、CAGによる心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を維持している。

課題

外傷患者等への救急受入が可能な体制の整備に向け、整形外科、脳神経外科の常勤医師を確保する必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 中間報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○小児医療の充実 本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。</p>	<p>小児の救急対応、入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の充実を図ります。</p> <p>○小児医療体制について 小児科の常勤医師の増員により、奈良県と情報交換をしながら、北和小児科二次輪番体制の充実を図ります。</p>	<p>小児の入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。</p> <p>○小児医療体制について ・令和 4 年 4 月にさらに常勤医師を確保し、常勤医師 4 名体制になりました。 ・令和 3 年度に引き続き、北和小児科二次輪番体制へ月 1 回参加しています。</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○災害時医療の確保 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確保する。</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。 生駒市災害対策本部及び生駒市医師会災害対策本部と緊密な連携協力体制の下、市内 4 病院とともに後方支援病院として災害時医療を担います。</p> <p>○災害時医療体制の確立について 災害対策マニュアルに沿って現場スタッフや、状況に応じては地域住民も参加する実地訓練を行います。 ・消防訓練（通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練） ・防災訓練（トリアージ・患者受入訓練・机上訓練）</p> <p>市が開催する市内等病院との意見交換会、奈良県が開催する新型コロナウイルス感染症に関する連絡会に参加し、病病連携強化を図ります。</p>	<p>大規模災害時における、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制整備に引き続き努めました。</p> <p>○災害時医療体制の確立について ・消防訓練・防災訓練 下半年実施予定</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○予防医療の啓発 市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど、市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。</p> <p>●疾病予防機能の強化について 疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定例的に開催します。（講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。） また、市民健診や予防接種について、市医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。</p>	<p>さらなる市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民の健康づくりや疾病予防を促進するため、院内講演の充実に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況をみながら、自治会等各種団体への出張講座を積極的に実施します。 市民の幅広い年代層が健診を受けやすくするよう努めます。 乳幼児への定期予防接種を実施します。</p> <p>・市民健診 大腸がん検診 220 件 胃がん(胃内視鏡)検診 70 件 乳がん検診 270 件 子宮頸がん検診 290 件 肝炎ウイルス検診 25 件 特定健診 820 件 一般健診 1,500 件 人間ドック・脳ドック 1,800 件 その他団体健診等 2,100 件</p> <p>・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 600 件 肺炎球菌 70 件</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民との交流、健康づくりを推進するため、コロナ禍において、オンライン形式での医療講演会を定期的で開催しました。 ・医療講演会 20 講座 参加者 305 名 (内、生駒市医師会や自治会等各種団体への出張講座 3 講座 参加者 71 名含む)</p> <p>・市民健診 大腸がん検診 83 件 胃がん(胃内視鏡)検診 32 件 乳がん検診 123 件 子宮頸がん検診 114 件 肝炎ウイルス検診 7 件 特定健診 415 件 一般健診 839 件 生活保護者等の健康診査 10 件 人間ドック・脳ドック 929 件 その他団体健診等 1,646 件</p> <p>・高齢者定期予防接種 肺炎球菌 35 件 (令和 3 年度上半期 36 件) ・小児定期予防接種 278 件</p>

令和4年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																												
<p>&lt;小児科二次輪番体制当番日の患者数&gt;</p> <table border="1" data-bbox="151 264 721 412"> <thead> <tr> <th></th> <th>救急車</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>24</td> <td>27</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table>		救急車	その他	合計	入院	4	2	6	外来	20	25	45	計	24	27	51	<p>○小児科常勤医師4名体制となり、小児の救急対応、入院患者の受け入れ等更なる小児二次医療体制の充実に努めている。</p> <p>○産科での出生児の診療や1か月健診は小児科医が担当し、胎児へのリスクの高い分娩には小児科医が参加するなど安心して出産できる体制を整えている。</p> <p>課題 北和小児科二次輪番体制の当番回数の増加に加え、医療的ケア児の大規模災害時等の一時受け入れなど地域の小児救急医療に対して、さらに貢献する必要がある。</p>																																												
	救急車	その他	合計																																																										
入院	4	2	6																																																										
外来	20	25	45																																																										
計	24	27	51																																																										
	<p>○大規模災害時における、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制が整備されている。</p>																																																												
<p>&lt;医療講演会（出張講座含む）&gt;</p> <table border="1" data-bbox="158 1207 729 1310"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4中間</th> <th>R3中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>305</td> <td>274</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;医療講演会の内容例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がんワクチンの効果と副反応（オンライン）</li> <li>・6/24 8周年記念「特別医療講演」たけまるホール小ホール「生駒市立病院7年の歩み」</li> <li>「いこまっこのためにできること - これまでも、これからも -」</li> <li>「新型コロナウイルスに対する生駒市立病院の取り組みについて」</li> </ul> <p>&lt;市民健診&gt;</p> <table border="1" data-bbox="146 1552 798 1944"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4中間</th> <th>R3中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>83</td> <td>79</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>胃がん（胃内視鏡）検診</td> <td>32</td> <td>24</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>123</td> <td>93</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td>114</td> <td>124</td> <td>△10</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検診</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>△5</td> </tr> <tr> <td>特定健診※1</td> <td>415</td> <td>304</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>一般健診</td> <td>839</td> <td>648</td> <td>191</td> </tr> <tr> <td>生活保護者等の健康診査※2</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>△4</td> </tr> <tr> <td>人間ドック・脳ドック</td> <td>929</td> <td>768</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td>その他団体健診等</td> <td>1,646</td> <td>1,533</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,198</td> <td>3,599</td> <td>599</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 生活習慣病を予防・早期発見するための健診です。  ※2 健康増進法施行規則第4条の2第4号に定める健康診査</p>		R4中間	R3中間	増減	件数	20	20	0	参加者数	305	274	31		R4中間	R3中間	増減	大腸がん検診	83	79	4	胃がん（胃内視鏡）検診	32	24	8	乳がん検診	123	93	30	子宮頸がん検診	114	124	△10	肝炎ウイルス検診	7	12	△5	特定健診※1	415	304	111	一般健診	839	648	191	生活保護者等の健康診査※2	10	14	△4	人間ドック・脳ドック	929	768	161	その他団体健診等	1,646	1,533	113	合計	4,198	3,599	599	<p>○令和4年4月から小児定期予防接種の指定医療機関となっている。</p> <p>○オンライン医療講演会を実施し女性特有の疾患についてわかりやすく情報提供を行っている。</p> <p>○多種多様な内容のオンライン医療講演会を開催するとともに自治会などへの出張講座や対面での特別医療講演会を開催するなど、コロナ禍においても感染状況を見ながら積極的に市民の健康づくりや疾病予防の啓発に取り組んでいる。</p>
	R4中間	R3中間	増減																																																										
件数	20	20	0																																																										
参加者数	305	274	31																																																										
	R4中間	R3中間	増減																																																										
大腸がん検診	83	79	4																																																										
胃がん（胃内視鏡）検診	32	24	8																																																										
乳がん検診	123	93	30																																																										
子宮頸がん検診	114	124	△10																																																										
肝炎ウイルス検診	7	12	△5																																																										
特定健診※1	415	304	111																																																										
一般健診	839	648	191																																																										
生活保護者等の健康診査※2	10	14	△4																																																										
人間ドック・脳ドック	929	768	161																																																										
その他団体健診等	1,646	1,533	113																																																										
合計	4,198	3,599	599																																																										

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 中間報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○市民参加による運営 条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。</p>	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み 入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見、改善の取組及び対応できない理由について、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告等、広く市民等に周知します。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査(中間報告を含む)について市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、年度事業計画に反映します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院事業推進委員会</li> <li>・市立病院管理運営協議会</li> <li>・入院・外来患者アンケート調査</li> <li>・ご意見箱の内容に対する対応</li> </ul> <p>○市民交流事業について 市立病院を市民に親しみを感じてもらうために、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況をみながら、市民交流事業を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康フェスティバル</li> <li>・院内コンサート 等</li> </ul>	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進しました。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み グループ全体で実施した令和 3 年度入院・外来患者アンケート調査の結果について、令和 4 年 6 月のホームページ更新に合わせて公表しました。 さらに、ご意見箱の内容に対して、対応が必要な案件については、迅速に対応しました。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査については、市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、次年度の事業計画作成時に反映させる予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。 (回答総数 254 件)</li> </ul> <p>&lt;健康フェスティバル&gt; 11 月 6 日(日)開催予定</p> <p>&lt;院内コンサート&gt; 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため上半期は開催せず。</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○環境に配慮した運営 新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムである ISO(国際標準化機構)14000 シリーズの認証取得を目指す。</p>	<p>引き続き、市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミックスペーパー等資源ごみの分別回収を強化します。</li> <li>・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。</li> </ul>	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミックスペーパー等資源ごみの分別回収を強化しました。</li> <li>・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化の啓発を図りました。</li> </ul>



# 収支

(単位 千円)

令和4年度事業計画 (令和4年9月末)	令和4年度中間報告	計画と報告の差額
医業収入 2,026,581	医業収入 2,130,940	医業収入 104,359
医業費用 2,041,189	医業費用 2,064,755	医業費用 23,566
医業利益 △ 14,608	医業利益 66,185	医業利益 80,793
その他費用 125,136	その他費用 127,125	その他費用 1,989
医業外収益 20,266	医業外収益 674,142	医業外収益 653,876
医業外費用 2,027	医業外費用 5,631	医業外費用 3,604
経常利益 △ 121,505	経常利益 607,571	経常利益 729,076